

資料 3 - 1

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

特別養護老人ホーム緑風園

目 次

令和6年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告	1～2
------------------------	-----

1. 理事会開催状況	1
2. 評議員会開催状況	2

入所者の処遇	3～5
--------	-----

(1) 生活援助・相談	3
(2) 個別処遇	3
(3) 給食サービス	3
(4) 医療サービス	3
(5) 入浴サービス	3～4
(6) リハビリテーションの実施	4
(7) レクリエーションの実施	4
(8) クラブ活動の実施	4
(9) 災害・事故防止	4
(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	4
(11) 「家族通信」の発刊（毎月）	5
(12) ホームページでの情報提供	5

<資料 1>	1. 在所者の人数	6
<資料 2>	2. 在所者の年齢階層	6
<資料 3>	3. 在所者の在所期間	6
<資料 4>	4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	6
<資料 5>	5. 在所者の要介護度	7
<資料 6>	6. 新規入所者の入所前居所	7
<資料 7>	7. 各月初日現在入所者数	7
<資料 8>	8. 施設監査等の状況	8
<資料 9>	9. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	8～9

令和6年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告

本会の会務運営並びに本会設置運営に係る特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）並びに短期入所生活介護（予防含む）（ショートステイ）緑風園の事業実施状況につき、次のとおり報告致します。

1. 理事会開催状況

- ◇R6. 6. 17（月） 午後2時00分
（場所：緑風園ダイルーム）
- ・報告第 1号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
 - ・報告第 2号 定期監査の報告について
 - ・報告第 3号 令和5年度事業報告について
 - ・議案第 1号 業務執行理事及び副理事長の選任について
 - ・議案第 2号 令和5年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分並びにニナルカの里拠点区分決算認定について（※決算内容説明並びに決算審査（監査）報告含む。）
- ◇R6. 11. 18（月） 午後2時00分
（場所：緑風園ダイルーム）
- ・報告第 4号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
 - ・報告第 5号 定期監査の報告について
 - ・報告第 6号 令和6年度上半期（4～9月）の収支状況について
- ◇R7. 3. 17（月） 午後2時00分
（場所：緑風園ダイルーム）
- ・報告第 7号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
 - ・報告第 8号 定期監査の報告について
 - ・報告第 9号 緑風園の虐待事案に関する報告について
 - ・議案第 3号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
 - ・議案第 4号 令和7年度 事業計画（案）について
 - ・議案第 5号 令和7年度 当初予算（案）について
 - ・議案第 6号 緑風園施設長（理事）の任命について

2. 評議員会開催状況

- ◇R 6. 6. 24 (月) 午後2時00分
(場所：緑風園ダイルーム)
- ・報告第 1号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
 - ・報告第 2号 定期監査の報告について
 - ・報告第 3号 令和5年度事業報告について
 - ・議案第 1号 令和5年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分並びにニナルカの里拠点区分決算認定について (※決算内容説明並びに決算審査(監査)報告含む。)
- ◇R 6. 11. 25 (月) 午後2時00分
(場所：緑風園ダイルーム)
- ・報告第 4号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
 - ・報告第 5号 定期監査の報告について
 - ・報告第 6号 令和6年度上半期(4～9月)の収支状況について
- ◇R 7. 3. 18 (火) 午後2時00分
(場所：緑風園ダイルーム)
- ・報告第 7号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
 - ・報告第 8号 定期監査の報告について
 - ・報告第 9号 緑風園の虐待事案に関する報告について
 - ・議案第 2号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
 - ・議案第 3号 令和7年度 事業計画(案)について
 - ・議案第 4号 令和7年度 当初予算(案)について
 - ・議案第 5号 緑風園施設長(理事)の任命について

利 用 者 の 処 遇

(1) 生活援助・相談

介護保険の理念である自立の促進に努めると共に利用者の自由と自主性を尊重し、個人的問題、相互関係、共同生活上の諸問題について、相談・助言を行うと共に、利用者と職員の懇談会を行う等、利用者の全体的問題、ニーズを把握し、意見・要望を日常生活に反映するように努め、ホームの生活に新たな生きがい・希望・喜びを見いだせるよう職員一同、万全の対策を施すことに努力してきた。

同時に「脱集団処遇」をスローガンに、それぞれの利用者の個別ニーズに対応する為、施設のケア体制を「グループケア方式」に変更し、個人の生活スタイルに合わせた生活の構築ができ得るスーパービジョンを実施している。

(2) 個別処遇

個別のケアプランについては、MDS-LAPS 2.1を用いて作成し、その実施にあたった。そして定期的にモニタリングを行いながら、ケアカンファレンスを開催し、利用者の意見も採り入れ、より質の高いサービスの実施に努めると共に、本人又は、家族にもプランを公表し、広く実施の同意を得てきた。尚、状況変化以外の定期的なプランの見直しは半年毎に行っている。

(3) 給食サービス

平成27年8月より日清医療食品㈱との給食業務委託契約を結び、給食サービスを外部委託したことにより、嚥下状態が悪い利用者に対して、食材をペースト状にし、形成したソフト食を提供できるようになり、出来る限り経口摂取で食事を楽しんでもらえるようになった。

更に、「あたたかいものは、あたたかいうちに」「冷たいものは、冷たいままに」という配慮から、様々な工夫を凝らすと共に、野外食（夏期）、鍋の日（冬期）等で出来立てのものを食べられる機会を多く設ける等、個々のニーズに対応できるように多くの機会に二重献立を実施している。又、日本各地のご当地メニューやお楽しみ昼食会を月1回実施し、利用者の希望する献立や他職員が提案した献立により、楽しんで食事をとって頂ける機会を作っている。又、毎月1回の給食会議を行い、利用者の嗜好・意見等に沿った献立に反映させるように努めている。

以上は、管理栄養士及び委託先の栄養士共同による月間予定献立により、カロリー・栄養価を十分に配慮して行われているが、時には身体の状況、疾病等により医師の指示に基づく特別食も実施している。

(4) 医療サービス

利用者の健康を保障する医療サービスについては、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診（精神科医師、内科医師）、必要に応じ随時、歯科医師の往診等の連携のもと、入園時健診や事業計画に基づく、心電図、採血、尿検査等を行うと共にそれ以外にも緊急時等、医師の指示により適切かつ必要な処置を行い、利用者個々の状況把握と適切な処置に、尚一層努めている。又、看取り介護となった場合は、利用者の身体的・精神的苦痛を少しでも和らげられるように対応することに努めている。

(5) 入浴サービス

現在、当園では、毎日を入浴日とし、特浴、中間浴、一般浴等の方法で一人最低週2回の入浴を実施する他、随時清拭により、利用者の清潔保持に努め、褥瘡防止と快適な生活を送られるよう配慮してい

る。

平成15年度に整備しました温泉浴室「千寿の湯」を有効利用し、温泉入浴という一層充実した入浴サービスを行い、又、平成15年度の車椅子浴室の増設、平成18年度と平成24年度の特設浴槽装置とADL入浴装置の更新により、更なる入浴サービスの向上に努めた。

(6) リハビリテーションの実施

当園でのリハビリは、『不自由な手や足』へ対するものではなく、『不自由な手や足を持つ人間そのもの』へ対するものだとの考えから、理学療法、作業療法のみならず日常生活全般にわたる働きかけの中で、臥床状態からの脱皮、身体機能減退のスローダウン、精神的な自主性回復に取り組んでいる。

又、回想法による認知症予防、療育音楽の導入、遊びりテーションの実施等で楽しみながら健康づくりを行ってきた。

(7) レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に一人一人の誕生日を祝っている。又、その際に葉書等で家族へも参加を促している。又、季節感を十分取り入れた行事を実施し、生活の単調化に変化を持たせると共に、利用者の参加の意欲を啓発し、日々の生活が張りのあるものになることに努めてきた。又、ボランティアとの交流や近隣名所見学等による地域社会との交流を深め、利用者が社会的存在としての立場を感じ得るように努めている。又、これらの行事も全体で集団的に行う行事から、個人の希望に沿った小単位のレクリエーションや行事の実施へと変換させている。

又、屋外ログハウス風大ステージを利用し、夏期の行事は北海道の短い夏を有効に過ごすべく、屋外行事を多く取り入れて行った。

さらに、外出行事を多く組み入れ、利用者の外出機会の確保に努めてきた。

(8) クラブ活動の実施

日常生活の中の趣味の活動を推奨すると共に、作業療法の側面も含め、書道（坂本義昭先生）、華道並びにカラオケのクラブ活動を推進してきた。

(9) 災害・事故防止

当園は、全館のドアを全て非常警報と連動した電気錠とすると共に、ナースコールの受信をPHSで行える設備、テンキーによる防火ドアの開閉装置等、防災と防犯、利用者の安全確保の為に最新技術を導入する等と併せて、防災訓練を定期的に行い、利用者のより快適で安全な暮らしを保証するよう努めた。

(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

平成12年4月1日よりスタートした介護保険の短期入所生活介護（ショートステイ）の専用ベッドは、令和3年4月に7床に変更しています。

令和6年度中の利用実人数は、113人。延べ利用日数は、757日、1日平均の利用者は2.07人で、令和5年度との比較は以下の表のとおりである。

	令和5年度	令和6年度	増減
利用実人数	192人	113人	-79人
延べ利用日数	1,403日	757日	-646日
1日平均利用者数	3.83人	2.07人	-1.76人

月別の利用状況は、次ページの表のとおりである

要介護度別利用者状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

		要支援		要 介 護 度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実 人 員	0	0	2	3	2	1	2	10
	延利用日数	0	0	7	17	20	5	28	77
5月	実 人 員	0	0	3	2	1	2	2	10
	延利用日数	0	0	8	6	3	7	26	50
6月	実 人 員	0	0	6	4	0	1	2	13
	延利用日数	0	0	14	24	0	4	27	69
7月	実 人 員	0	0	3	3	0	2	2	10
	延利用日数	0	0	17	6	0	12	27	62
8月	実 人 員	0	0	5	2	0	1	2	10
	延利用日数	0	0	16	21	0	5	21	63
9月	実 人 員	0	0	6	1	0	1	2	10
	延利用日数	0	0	37	2	0	5	23	67
10月	実 人 員	0	0	4	2	0	1	2	9
	延利用日数	0	0	23	7	0	5	30	65
11月	実 人 員	0	0	5	1	0	1	2	9
	延利用日数	0	0	26	2	0	5	27	60
12月	実 人 員	0	0	4	2	1	1	2	10
	延利用日数	0	0	28	6	5	5	22	66
1月	実 人 員	0	0	1	1	0	2	2	6
	延利用日数	0	0	8	2	0	9	17	36
2月	実 人 員	0	0	5	1	0	1	2	9
	延利用日数	0	0	42	4	0	5	30	81
3月	実 人 員	0	0	3	1	0	1	2	7
	延利用日数	0	0	34	2	0	3	22	61
計	実 人 員	0	0	47	23	4	15	24	113
	延利用日数	0	0	260	99	28	70	300	757

(11) 「家族通信」の発刊（毎月）

昭和62年8月より、毎月、緑風園「家族通信」を発刊し、家族等に配布し、家族等に対して園の行事等の情報を数多く提供するように努めている。

(12) ホームページでの情報提供

平成13年6月21日よりWEBサイトに緑風園のホームページを作製しインターネットを通じ全国の方々に園の情報を発信している。平成29年5月には、緑風園のFacebookページを開設し、情報発信をおこなっており、平成30年3月にリニューアルを行いスマートフォン・タブレット端末からも見やすいよう専用ページを開設した。さらに、ホームページ上から職員応募や問い合わせが行える機能を設置するなど、職員募集の強化を行った。

在 所 者 集 計 表

令和7年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数

(人)

在 所 者	99人	男 性	19人
		女 性	80人

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層

(人)

	65歳未満	65～70歳未満	70～80歳未満	80～90歳未満	90歳以上	合計	平均年齢(歳)
男 性	0	1	7	8	3	19	82.2
女 性	0	0	10	38	32	80	88.0
計	0	1	17	46	35	99	86.9

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
(人)	17	6	41	23	12	0	99	男	807.2
								女	940.3
								計	914.7

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数)

(人)

認知症自立度		寝たきり度	寝たきり度判定基準				計
			ランク J	ランク A	ランク B	ランク C	
認知症は認められない			0	0	0	0	0
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I		0	1	1	0	2
	ランク II		2	3	3	0	8
	ランク III		3	29	42	4	78
	ランク IV		0	4	4	1	9
	ランク M		0	0	1	1	2
計			5	37	51	6	99

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男 性	0	1	4	10	4	19	3.89
女 性	0	2	17	35	26	80	4.06
計	0	3	21	45	30	99	4.03

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社別施設	その他	合計
男 性	10	3	0	6	0	0	0	0	0	19
女 性	26	20	1	26	0	2	2	3	0	80
計	36	23	1	32	0	2	2	3	0	99

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	2	5	20	49	27	103
5月	2	5	20	50	27	104
6月	2	5	20	50	26	103
7月	0	3	21	48	27	99
8月	0	1	20	50	29	100
9月	0	1	17	51	30	99
10月	0	0	19	50	30	99
11月	0	0	21	48	31	100
12月	0	0	22	47	31	100
1月	0	0	22	47	32	101
2月	0	1	21	46	31	99
3月	0	3	20	45	31	99
計	6	24	243	581	352	1,206

<資料 8>

8. 施設監査等の状況

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

年 月 日	内 容	実施者（出席者）
定期監査等		
R 6. 4. 2 5	内部監査～法人及び施設運営全般	当法人～竹内、伊奈両監事
R 6. 5. 2 9	決算審査～一般会計及び特別会計	同上 ～同上
R 6. 7. 2 5	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
R 6. 10. 2 3	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
R 7. 1. 3 0	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
入所判定委員会		
R 6. 4. 3 0	R 6年度第1回入所判定委員会	当園～永山総合施設長、杉本施設長、橋本施設ケア係長、高田SW、佐々木SW、反怖副主任看護師、奥山ニナルカの里施設長 当法人～竹内監事 第三者委員～登山委員、杉本委員、渡辺委員、吉田委員、太田委員、竹中委員
R 6. 7. 2 4	同上 第2回 //	
R 6. 10. 2 1	同上 第3回 //	
R 7. 1. 3 1	同上 第4回 //	

<資料 9>

9. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修・諸会議等)	(参加・出席者)
令和6年		
4月12日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
5月10日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
6月14日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
6月28日	登別市長選挙不在者投票事務担当者会議	事務係長、相談員
7月12日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
8月5日～9日	認知症介護実践リーダー研修（札幌市）	施設ケア係長
8月9日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
9月11日	B C P感染症研修	事務係長、施設ケア係長
9月11日	特定給食施設等栄養業務担当者研修	管理栄養士
9月13日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
9月20日	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員
10月3日	社会福祉法人 経営会議	役職者の職員
10月4日	認知症会議御実践リーダー研修（札幌市）	施設ケア係長
10月8日	衆議院議員総選挙不在者投票事務担当者会議	事務係長、相談員
10月11日	三愛病院医療安全管理対策委員会	事務係長
10月29日	西胆振管内 特定給食施設等栄養業務担当者研修会	管理栄養士
11月7日	社会福祉法人 経営会議	役職者の職員
11月8日	三愛病院医療安全管理対策委員会	事務係長
12月13日	三愛病院医療安全管理対策委員会	事務係長
12月24日	社会福祉法人 経営会議	役職者の職員
12月27日	三愛病院臨時虐待防止委員会	事務係長、施設ケア係長

(年月日)	(研修・諸会議等)	(参加・出席者)
令和7年		
1月10日	三愛病院医療安全管理対策委員会	施設長
1月23日	社会福祉法人 経営会議	役職者の職員
2月6日	社会福祉法人 経営会議	役職者の職員
2月7日	三愛病院医療安全管理対策委員会	施設長
3月6日	社会福祉法人 経営会議	役職者の職員
3月7日	三愛病院医療安全管理対策委員会	施設長

資料 3 - 2

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

デイサービスセンター 緑風園

目 次

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 基本的なサービス実施状況について・・・・・・・・	2
2. デイサービス行事活動実施状況について・・・・・・・・	2
3. 主な日常的活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
資料1 デイサービス事業実績報告書・・・・・・・・	別紙

令和 6 年度事業報告

1. 基本的なサービス実施状況について

定員数 18 名の地域密着通所介護の運営を行うために要介護者の利用に重点を置きながらも、要支援者の受け入れも行っております。1 日利用者目標数を 16～17 名を目指して、1 日平均は前年度同様となってしまったが、登録者数は前年比約 103%と上向き傾向にあります。ご利用者様の満足度向上を目指し、接遇マナー研修や、職員の個のスキルアップなどの研修も実施。昨年度の実績として利用中止者が 21 名・新規利用者が 28 名となっております。昨年度以上の環境整備をすることにより、どなたにでも居心地の良い空間の提供を心掛けて取り組んできました。

次年度に関しましては温泉だけに頼らず、「緑風園のデイサービスに来ると元気になる」をモットーに現状以上の稼働率向上を図り、より多くの方に安心して当デイサービスをご利用して頂けるよう職員一丸となって邁進してまいります。

2. デイサービス行事活動実施状況について

- ・ 5 月～お花見レク(バスツアー)
- ・ 6 月～茶話会
- ・ 7 月～野外食
- ・ 8 月～茶話会 (カキ氷)
- ・ 9 月～敬老会(ボランティア団体による出し物)
- ・ 10 月～紅葉狩りドライブ (カルルス、登別温泉方面)
- ・ 11 月～鍋パーティー
- ・ 12 月～クリスマス会 (ビンゴ)、餅つき
- ・ 2 月～節分 (豆まき、鬼に扮装)
- ・ 3 月～ひな祭り茶話会 (桜餅提供)、鍋パーティー

3. 主な日常的活動

- ・ 全体体操、腿上げ訓練、歩行訓練
- ・ 体力測定
- ・ 余暇・制作活動 (カラオケ・間違い探し・脳トレ(計算問題)・積み上げゲーム等の余暇活動やちぎり絵、貼り絵等の制作活動を楽しんでいます。)

令和6年度 デイサービス事業実績報告書

デイサービスセンター緑風園

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
要支援1	8	29	11	46	11	44	12	52	13	49	12	44	13	54	13	51	12	48	11	44	10	38	10	36	136	535
要支援2	4	25	3	12	4	19	5	27	6	29	5	26	5	33	5	30	6	38	6	34	8	40	8	53	65	366
要介護1	22	136	25	142	24	141	24	153	22	145	23	134	23	149	23	136	20	112	20	113	22	111	20	123	268	1,595
要介護2	14	110	13	92	12	83	11	78	10	82	11	73	12	94	13	99	13	104	11	65	11	69	12	69	143	1,018
要介護3	3	12	4	25	3	10	5	22	4	15	3	10	3	14	3	9	4	16	4	17	4	22	5	19	45	191
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	51	312	56	317	54	297	57	332	55	320	54	287	56	344	57	325	55	318	52	273	55	280	56	301	658	3,706
延べ入浴数(一般)	283		291		268		307		299		287		325		303		297		253		259		275		3,447	
延べ入浴数(特別)	27		26		28		25		21		21		19		22		21		19		20		21		270	
延べ食事数	312		317		297		332		320		287		344		325		318		273		279		301		3,705	
延べ機能訓練数	258		259		233		253		242		217		257		244		232		195		200		212		2,802	
開所日数	21		21		20		22		21		19		22		20		21		21		18		20		246	
1日平均利用数	14.9		15.1		14.9		15.1		15.2		15.1		15.6		16.3		15.1		13.0		15.6		15.1		15.1	
新規利用者数	5		5		2		3		2		3		1		2		1		0		3		1		28	
利用中止者数	1		1		2		2		3		2		3		1		2		1		2		1		21	
登録者数(男)	20		24		24		24		24		23		23		23		23		22		22		22		274	
登録者数(女)	33		35		35		36		35		37		35		36		35		35		36		36		424	
登録者数(合計)	53		59		59		60		59		60		58		59		58		57		58		58		698	

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里

目 次

1. 事業の概況	1
(1) 事業種類	1
(2) 事業規模	1
2. 事業の実施状況	
(1) 生活援助	1
(2) 個別支援	2
(3) 健康管理	2
(4) 生活環境への配慮・衛生管理	2
(5) 会議開催状況	2
(6) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	2～3
(7) 「家族通信」の発刊（毎月）	3
(8) ホームページでの情報提供	3
＜資料 1＞ 1. 在所者の人数	4
＜資料 2＞ 2. 在所者の年齢階層	4
＜資料 3＞ 3. 在所者の在所期間	4
＜資料 4＞ 4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	4
＜資料 5＞ 5. 在所者の要介護度	5
＜資料 6＞ 6. 新規入所者の入所前居所	5
＜資料 7＞ 7. 各月初日現在入所者数	5
＜資料 8＞ 8. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	6

緑風園サテライト型特別養護老人ホームニナルカの里の事業運営については、入居者様一人ひとりの意思及び人格を尊重し、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営めるよう、施設サービス計画に基づき個別ケアの実践に務めました。また、地域社会に開かれ、地域に根差した施設の運営を行うべく取り組んでまいりました。

1 事業の概要

(1) 事業種類

ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設
短期入所生活介護（予防含む）

(2) 事業規模

定員：地域密着型特別養護老人ホーム（29名）
短期入所生活介護（11名 ※内1名は緊急ショートステイ）
ユニット区分（ひなげし・りんどう・すずらん・ふくじゅそう 各全室個室10名）

2 事業の実施状況

(1) 生活援助

①食事

給食サービスを日清医療食品㈱に外部委託し、個々の状態に合わせた食形態を提供できるようにしました。また、各ユニット内でご飯・お粥を炊飯することにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者様に盛り付けや下膳の手伝いをしていただくことにより、入居者様の生きがいの創出ができるよう取り組みました。

②入浴

入浴回数は一人につき週2回以上とし、本人の希望により入浴できるようほぼ毎日入浴を実施しました。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮しゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けました。個浴での対応が困難な方においては車椅子対応の中間浴、特浴にて対応し、安全に安心して入浴ができるよう努めました。体調不良などで入浴できないときは清拭を行うことで衛生保持に務めました。

③排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者様がより快適に過ごすことができるよう努めました。

④自分らしい生活

個々人の生活のリズムを大切にし、本人の意思を確認しながら支援に努めました。また、入居者様が自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けや行いたいことのサポートをすることに努めました。

⑤レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に各ユニットで誕生会を行いました。新型コロナ感染防止のため、今年度も外部のボランティアの受け入れは行わず、ユニット毎におやつ作りやカラオケ、的当てゲームなどを行いました。また、桜巡りや紅葉巡りなど外出行事の他、裏の畑での園芸活動、入居者様と職員だけの開催ですがニナルカの里夏祭りを開催することができました。

⑥災害・事故防止

当施設の玄関は非常警報と連動した電気錠となっており、ナースコールの受信をPHSで行える設備、各出入り口を確認できる防犯カメラを設置することで、防災と防犯、入居者様の安全確保を図るとともに、年2回消防避難訓練（防災訓練兼ねる）を行い、入居者様が安心して暮らせるよう取り組んでいます。

(2) 個別支援

個別のケアプランについては、MDS・LAPS2.1 を用いて作成し、定期的にモニタリングを行いながらケアカンファレンスを開催するとともに、個別性のあるサービスを提供できるように取り組んできました。また、状況変化以外の定期的なケアプランの見直しは半年毎に行っています。

(3) 健康管理

入居者が心身ともに健康で充実した日常生活が送れるように、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診（精神科医師：週 1 回、内科医師：週 2 回、皮膚科医師：月 2 回）必要時に応じて随時、歯科医師による月 1 回の往診と口腔ケア指導を実施するとともに、年 1 回健康診断を実施し健康管理を行いました。また、新型コロナやインフルエンザなど感染症の感染予防のため、入居者様・職員に対し予防接種を実施するとともに、予約制で 1 階ホールでの面会など、面会の制限や面会者に対しても手洗い、うがいの励行とマスクの着用をもって感染予防に努めました。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

居室はプライベートスペースとして、馴染みの家具などを持ち込んでいただき気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう配慮に努めるとともに、食堂やリビングの共有スペースでは、入居者様同士が楽しく交流できるよう取り組みました。また、各階のエレベーター前のラウンジには、椅子テーブルを配置し入居者様が気軽に過ごすことが出来るようにしております。

施設内の清掃については、クリーンビル開発株式会社と清掃業務委託契約を行い、清潔な生活環境の整備を図り衛生管理に努めました。

(5) 会議開催状況

施設の運営や管理、サービスの向上、情報共有のため、毎月全体会議・給食会議・感染対策委員会・リスクマネジメント委員会・褥瘡対策委員会・身体拘束廃止委員会・虐待防止委員会を開催するとともに、また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の確保を目的に地域代表者等を委員とし、運営内容について地域から広く意見・助言を求めるため運営推進会議を 2 カ月に 1 回開催しました。

(6) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

短期入所生活介護（ショートステイ）の居室を 11 室設けており、その内 1 室は緊急ショートステイ専用の居室になっており、ケアプランに計画されていない場合でも緊急にショートステイが必要な場合に利用できる居室を確保しています。

令和 6 年度中の利用実人数は、152 人。延べ利用日数は、966 日、令和 6 年度の 1 日平均の利用者は 2.65 人で、令和 5 年度との比較は以下の表のとおりである。

	令和 5 年度	令和 6 年度	増減
利用実人数	195 人	152 人	-43 人
延べ利用日数	1,468 日	966 日	-502 日
1 日平均利用者数	4.01 人	2.65 人	-1.36 人

月別の利用状況は、次ページの表のとおりである

ショートステイ要介護度別利用状況表

令和6年4月1日～令和7年3月31日

		要支援		要介護度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実人員	0	1	4	7	1	2	0	15
	延利用日数	0	3	39	44	3	35	0	124
5月	実人員	0	1	3	7	2	2	0	15
	延利用日数	0	13	12	48	10	24	0	107
6月	実人員	0	1	4	5	3	1	0	14
	延利用日数	0	5	16	41	12	20	0	94
7月	実人員	0	0	4	6	4	0	0	14
	延利用日数	0	0	29	35	15	0	0	79
8月	実人員	0	0	5	5	1	0	0	11
	延利用日数	0	0	56	39	3	0	0	98
9月	実人員	0	2	6	6	3	1	0	18
	延利用日数	0	14	28	33	18	2	0	95
10月	実人員	1	1	3	5	5	0	0	15
	延利用日数	3	5	17	33	15	0	0	73
11月	実人員	1	2	4	3	1	0	0	11
	延利用日数	1	18	33	20	5	0	0	77
12月	実人員	0	1	4	2	2	0	0	9
	延利用日数	0	2	20	14	19	0	0	55
1月	実人員	0	0	3	1	2	1	0	7
	延利用日数	0	0	15	7	8	5	0	35
2月	実人員	0	1	1	4	2	0	0	8
	延利用日数	0	2	5	29	20	0	0	56
3月	実人員	0	2	5	4	4	0	0	15
	延利用日数	0	9	16	24	24	0	0	73
計	実人員	2	12	46	55	30	7	0	152
	延利用日数	4	71	286	367	152	86	0	966

(7)「家族通信」の発刊

平成30年12月より毎月、家族通信として「ニナルカの里通信」を発刊し、家族等に配布し、施設の行事や入居者様の様子等の情報を数多く提供するように努めています。

(8) ホームページでの情報提供

平成30年4月1日より、本体施設である緑風園のホームページ内にニナルカの里のページを作成し施設の情報を発信しています。ホームページ内では行事や活動のトピックス、ニナルカの里通信、パンフレット等の閲覧や、オンラインでの入所申込、ショートステイの空き状況、料金表の確認の他、運営推進会議の議事録を閲覧することができます。

在 所 者 集 計 表

令和7年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数 (人)

在 所 者	2 7	男 性	2
		女 性	2 5

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層 (人)

	65 歳未満	65～70 歳未満	70～80 歳未満	80～90 歳未満	90 歳以上	合計	平均年齢(歳)
男 性	0	0	1	1	0	2	81.0
女 性	1	0	1	8	15	25	88.8
計	1	0	2	9	15	27	88.3

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
(人)	8	1	7	6	5	0	27	男	1,750.0
								女	894.3
								計	957.7

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数) (人)

認知症自立度		寝たきり度	寝たきり度判定基準				計
			ランク J	ランク A	ランク B	ランク C	
認知症は認められない			0	0	0	0	0
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I		0	1	1	0	2
	ランク II		0	4	4	0	8
	ランク III		0	8	8	0	16
	ランク IV		0	0	1	0	1
	ランク M		0	0	0	0	0
計			0	13	14	0	27

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男 性	0	0	1	0	1	2	4.0
女 性	0	3	9	11	2	25	3.5
計	0	3	10	11	3	27	3.5

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社福祉施設	その他	合計
男 性	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
女 性	7	9	0	6	0	0	0	0	3	25
計	7	10	0	7	0	0	0	0	3	27

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	0	2	10	12	5	29
5月	0	2	10	12	5	29
6月	0	2	10	12	5	29
7月	0	3	9	12	5	29
8月	0	3	9	12	5	29
9月	0	3	9	12	5	29
10月	0	3	9	12	5	29
11月	0	3	9	10	4	26
12月	0	3	10	11	3	27
1月	0	3	10	10	3	26
2月	0	3	9	11	3	26
3月	0	3	10	10	3	26
計	0	33	114	136	51	334

<資料 8>

8. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修・諸会議等)	(参加・出席者)
令和6年		
4月12日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
4月16日	ニナルカの里 運営推進会議	施設長
4月19日	のぼりべつケアマネ連絡会	施設長、相談員
4月25日	実習指導者会議	施設ケア係長
5月10日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
5月23日	登別市社会福祉協議会 理事会	施設長
5月30日	登別市社会福祉協議会 理事会	施設長
6月13日	施設内研修「高齢者虐待防止研修」	看護師、相談員、介護職員
6月13日	ニナルカの里 運営推進会議	施設長
6月14日	三愛病院医療安全管理対策委員会	総合施設長
6月18日	施設内研修「高齢者虐待防止研修」	看護師、相談員、介護職員
6月20日	施設内研修「高齢者虐待防止研修」	看護師、相談員、介護職員
6月21日	のぼりべつケアマネ連絡会	施設長、相談員
6月25日	医療法人社団千寿会 評議員会	総合施設長
6月27日	施設内研修「高齢者虐待防止研修」	看護師、相談員、介護職員
7月11日～12日	防火管理者講習（苫小牧市）	施設長
8月5日～9日	認知症介護実践リーダー研修（札幌市）	施設医ケア係長
8月27日	ニナルカの里 運営推進会議	施設長
9月4日	要介護施設従事者等による高齢者虐待に関する勉強会	施設長、相談員
10月3日	社会福祉法人 経営会議	施設長
10月4日	認知症介護実践リーダー研修（札幌市）	施設ケア係長
10月24日	ニナルカの里 運営推進会議	施設長
11月7日	社会福祉法人 経営会議	施設長
12月5日	社会福祉法人 経営会議	施設長
12月17日	ニナルカの里 運営推進会議	施設長
令和7年		
2月18日	ニナルカの里 運営推進会議	施設長
3月1日～31日	施設内研修「アンガーマネジメント研修」	全職員

資料 3－4

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会
緑風園居宅介護支援事業所

目次

要介護度別利用者の状況・・・・・・・・	< 1 >
新規受および終了件数・・・・・・・・	< 1 >
月別介護サービス利用状況・・・・・・・・	< 2 >
月別予防サービス利用状況・・・・・・・・	< 2 >
令和 6 年度事業報告・・・・・・・・	< 3 >

* 要介護度別利用者の状況(給付管理数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
要介護1	40	40	42	43	42	43	42	40	39	47	43	45	506	
要介護2	29	24	23	23	20	23	22	25	20	22	20	22	273	
要介護3	11	13	13	14	11	10	11	12	11	11	14	13	144	
要介護4	4	4	4	3	5	5	5	4	4	4	3	4	49	
要介護5	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7	
小計	85	82	83	85	80	81	80	81	74	84	80	84	979	81.58
要支援1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
要支援2	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	101	
小計	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	137	11.42
合計	97	94	95	97	92	92	91	92	85	95	91	95	1116	93.00

* 新規受および終了件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受け	3	3	2	3	4	5	1	5	2	5	5	0	38
終了	0	2	4	5	4	3	4	2	0	1	3	3	31

* 新規依頼元

地域包括支援センター～ 27件 医療機関～ 5件 老健～1件 小多機～1件 紹介～3件 予防→介護～1件

* 終了事由として

介護保険施設入所～ 8件 長期入院～ 14件 死亡～ 7件 グループホーム入所～1件 養護老人ホーム特定入所～1件

* 月別介護サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	22	21	24	26	24	26	26	28	22	26	25	24
訪問看護	14	15	17	17	18	18	18	17	17	17	17	18
訪問リハビリテーション	9	10	10	11	12	11	11	11	11	11	11	11
通所介護	35	37	37	37	36	36	35	36	34	35	36	39
地域密着型通所介護	19	20	19	17	15	16	17	16	15	17	16	18
通所リハビリテーション	9	9	9	10	9	9	10	8	11	10	9	9
短期入所生活介護	4	2	6	3	3	5	4	2	3	5	3	6
短期入所療養介護	2	4	3	1	2	2	0	0	1	3	1	2
福祉用具貸与	46	49	49	51	50	50	48	48	45	46	47	48
訪問入浴	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

* 月別予防サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4
訪問看護	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2
通所介護	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
福祉用具貸与	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7
訪問リハビリテーション	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6
通所リハビリテーション	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

令和 6 年度 事業報告

1. ケアプラン作成…課題分析方式については、居宅サービス計画ガイドラインで行った。
2. サービス担当者会議…認定更新時、ケアプランの見直し等において専門的な見地から意見を求めるため、指定居宅サービス事業所等の担当者と連絡調整を行い、利用者宅または事業所にて会議を開催した。
3. 主治医との連携…ケアプラン作成において主治医の見地が必要な場合、当該病院へ訪問し主治医と面談、または MSW との連携等により情報収集および共有をした。
4. ケアプランの実施状況等を把握し、計画の変更等利用者が求めるサービスが提供されるよう、特段の理由がない限り、月に最低一度は必ず訪問を実施した。
5. モニタリングについて…事業所や利用者、家族からの情報をもとに、課題の把握と達成度をケアプラン・マネジメント評価表としての記録を実施した。

* 研修会等への参加について

- ・ のぼりべつケアマネ連絡会～しんた 21(4/19・6/21・10/18・11/13 津村・新居)
- ・ 登別市介護支援専門員研修会～しんた 21(7/23 新居、1/14 津村・新居)
- ・ 登別市在宅医療介護連携推進会議～のぼりん(4/24 津村)
- ・ 登別市在宅医療介護連携推進事業～
 - 「医療・介護関係者研修会」～登別市民会館(11/13 津村・新居)
 - 「市民講演会」～登別市民会館(12/8 津村)
- ・ 登別市障害者自立支援審査会～登別市役所(7/23・9/24・1/28・3/25 津村)
- ・ 令和 6 年度室蘭市・登別市・伊達市主任介護支援専門員研修会
 - ～室蘭市役所会議室(11/21 津村)
- ・ 高齢者虐待防止研修～ニナルカの里施設内研修(6/27 新居、6/28 津村)
- ・ 高齢者虐待に関する勉強会～ズーム(10/24 津村・新居)
- ・ スーパービジョン事例検討会～しんた 21(8/21、10/16、12/18 新居、2/17 津村・新居)
- ・ 感染症の予防およびまん延防止のための研修会～ヌプル(9/11 津村)
- ・ アンガーマネジメントのすすめ研修～ニナルカの里施設内研修(3/18 新居、3/26 津村)